

笑って、泣いて、リフレッシュ

日本医労連東北地方協議会

第6回女性学習交流集会ひらく



動を通して
講師 笹原留似

日本医労連東北地方協
は、5月30日～6月1
日にかけて「第6回女性学
習交流集会 in 岩手」を、盛
岡市つなぎ「ホテル紫苑」
で開催し、137人が参加し
ました。

1日目は、復元
納棺師の笹原留似
子さんが記念講演
を行いました。笹
原さんは、東日本
大震災の津波で損
傷した遺体を復元
するボランティアをと
して、遺族と共に悲しみを
共有して心をつなげる努
力を行ってきたことなど、

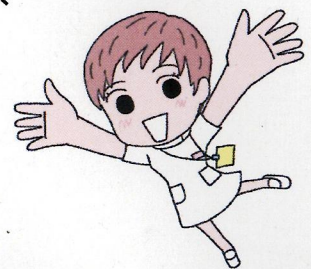
「『死』から
『生』を考え
る」ことを、著
書の「おもか
げ復元師の震
災絵日記」か
ら、体験をも
とに話して下
さいました。
また、未だ40
名以上の方が

安倍政権の暴走ストップ！
情勢きりひらく展望を

煙崎久美子さん（日本医労連女性協事務局長）が基調報告。安倍政権が進めている憲法「改正」について、力強い報告でした。平和憲法を守り、戦争をする国にはいけないと強く感じました。

医労連共済の魅力再認識

新たに2人がセット共済に加入！
安い掛け金で手厚い保障が魅力の医労連共済。能登小百合さんがわかりやすくお話して下さり、この日2人がセット共済に加入しました。



行方不明の大槌町で「子ども夢ハウスおおつち」を立

ち上げ、その活動を通して大切な家族・友人を亡くした子ども達が、どのように踏ん張って生きているのかもお話し頂きました。現在も復興支援に携わって活動をされていることに感銘を受けました。



サインセールは長蛇の列で完売。著書はポプラ社から発売中です。

三大麺とまめぶ汁、さんさで岩手を堪能

各県医労連の紹介も華やかな夕食交流会

夕食は、「もりおか三大麺」(冷麺、じゃじゃ麺、わんこそば)や、ドラマ「あまちゃん」でおなじみの「まめぶ汁」を含む、岩手の味満載のスペシャルメニューが用意されました。交流会に先立ち、歓迎のアトラクションとして、石町の上長山無形文化財



振興会のみなさんに、伝統さんさを披露して頂きました。さんさ踊りに親しんでいる県内の参加者も、一味違う伝統さんさを興味深く見つめていました。各県の紹介では、踊りやクイズなどそれぞれ趣向が凝らされ、楽しい夜を過ごしました。交流会の最後には、岩手の実行委員を中心に会場の全員でさんさの輪踊りを行いました。



2日目は

仕事を忘れて、リフレッシュコース☆≡

① 手づくり村で「冷麺体験教室」

こねるのが大変でしたが、自分で作ったので美味しく感じました。



③ 小岩井農場めぐり ガイド付きバスツアー

ガイドさんのお話が巧みで、聞き惚れてしまいました。



② 手づくり村で「藍染め(バンダナ)」の体験教室

世界で1枚、自分だけのオリジナルバンダナができました。

④ もりおか歴史散歩

ガイドさんの説明を受けながら「啄木・賢治青春の道」を散歩し、天気も良く暑いぐらいの気温で汗をかきながら回りましたが、楽しく歴史を学びました。

岩手医労連 結成 60 周年記念祝賀会
2014年8月30日(土) 18:00~20:00
つなぎ温泉 ホテル大観